

～ 知識の向こう側へ ～

SSH通信

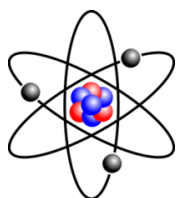
No.7 発行 2015.12.03

講演会・セミナー・科学の甲子園

今後の予定

12/12 身近なテクノロジー 希望者

1/23・24 東北地区SSH指定校発表会 担当生徒



Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず、本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

●理数科講演会

[概要] 10月26日に仙台三高理数科の生徒対象に第2回理数科講演会が行われました。東北大学原子分子材料科学高等研究機構から助教 Daniel M. Packwood 先生をお招きし、すべて英語による講演「Probability and Molecules」を行っていただきました。

初めての完全な英語での講義ということで私は少し不安を感じながらバックウッドさんが話し出すのを待っていました。しかし、それは杞憂に終わりました。聞き取れなかったり、分からない単語があったりしたという点では確かに私の不安通りでしたが、バックウッドさんは講義の時も、質問を受ける時も明らかにお互いが理解できるような気を遣っていました。今後はそんな気遣いがいらなくらい理解力をつけたいと感じた今回の講義でした。

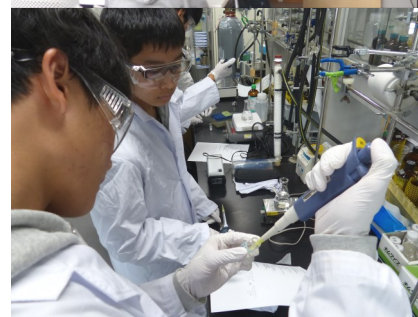
(1年 理数科 吉田勝哉)



●やさしい科学技術セミナー

私はこのようなイベントに参加するのは今回が初めてで、少し緊張していました。しかし、当日はとても楽しく参加することができました。セミナーの内容は蛍光分子を利用した実験でしたが、初めての実験を行う私でも分かりやすいものでした。また、大学研究室の設備を紹介していただいたり、学生の方とも様々な話題でお話しをさせていただいたり、大学の雰囲気にも触れる良い機会になったと思います。

(2年 普通科 渋谷悠太)



●科学の甲子園

宮城チャレンジ



仙台三高からは2チーム計14名が第5回科学の甲子園宮城チャレンジに出場しました。今年度は、惜しくも全国大会への出場を逃してしまいましたが、Aチームは総合第2位、実技②第1位という功績を収めることができました。今回出場した1年生9名は次回第6回大会で三高チームの中核となり全国大会への切符を手に入れてくれると信じています。また、科学の甲子園に関する情報は昇降口後方に掲示してあります。ぜひご覧ください。特に現1年生には積極的にこの大会への参加をお願いしたいと思います。

(2年 理数科 岩間公希)



●わくわくサイエンス

燕沢児童館、鶴ヶ谷市民センター



私たちは、今年3回出前実験教室を行いました。教室では液体窒素や空気砲、スライム作りを行いました。時間の関係上、スライム作りを行えたのは2回だけでしたが、実際に作って持ち帰ることができる実験ということで、子どもたちも楽しそうに作っていました。私は2年連続の参加でしたが「教える」ということを改めて楽しいと思える、この「わくわくサイエンス」に参加できて本当に良かったです。来年も超エキサイティング!!

(2年 理数科 村田亮輔)



●利根川進 講演会

今回の講演の内容は「記憶のしくみ」についてであった。記憶が存在する意味を考える所から始まり、それがどのような仕組みで成り立っていて社会のどこに応用されるか、脳科学の視点から理解を深められた。講演後は壇上で公開討論会が行われた。そこで利根川教授の研究観や信念等を直接聞くことができたのは、大変貴重な経験となった。利根川教授が勧める本は、ダーウィン著「種の起源」だそうだ。ぜひ熟読玩味したいと思う。

(2年 理数科 庄子水渡)

●サイエンスフェスタ準備

11月14日に仙台三高を会場に開催される第4回サイエンスフェスタに向けて、1,2年生の普通科ではクラスコンペが行われました。

1年生では職業について、2年生では自分たちで決めたキーワードについて調べたポスターを作成しました。クラスコンペでは、クラス内の班ごとにポスター発表を合わせ、評価の高いものがクラス代表としてさらにサイエンスフェスタで発表します。

